

# 旬の産直大百科

## 北上産地直売所あぜみち旬の食材使い料理教室を開催!



産直あぜみちの会若手部会は、JA北上地域調理研修施設「来夢」(北上市流通センター)で旬の食材を使った料理教室を企画しました。

第1回目は5月29日に料理研究者として活躍する千葉星子さんを講師に招き、若手部会の部会員と参加者合わせて約20人で「アスパラとしらすのレモンクリームパスタ」「アスパラのピクルス」「スモークサーモンとアスパラのパイ包み」「アスパラのしっとりバターケーキ」の4品を作りました。参加者は千葉さんに調理のポイントを熱心に聞きながら、協力して調理を行いました。調理後には作った料理を食べながら、参加者同士で情報交換や千葉さんに他の野菜の調理の仕方などを聞くなどして交流を楽しみました。



◆今後の予定  
 【第2回目】※キャンセル待ち  
 日時…7月25日(水)  
 講師…十良澤健二さん(steak&bistro小春日和オーナーシェフ)  
 旬の食材…ナス  
 【第3回目】※キャンセル待ち  
 日時…9月20日(木)  
 講師…千葉星子さん  
 旬の食材…二子さといも  
 【第4回目】  
 日時…11月14日(水)  
 講師…十良澤健二さん(steak&bistro小春日和オーナーシェフ)  
 旬の食材…西洋野菜  
 ◆定員…各15名  
 ◆料金…1,800円  
 ◎お申込み・お問い合わせ  
 北上産地直売所「あぜみち」 ☎0197-71-1338

## ぼらーの広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

### 今月のテーマ 山派?海派?

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は

### エコープ商品詰め合わせ

をプレゼント!

やっぱり山でしょ!春は山菜、夏は森林浴、秋はきのこ。近所や友人にお福分けし、食べているときの笑顔がたまりません。(遠野市・山の男)

山登りが大好きです。自然の中で1日歩くと、体の中から悪い気が出され、良い気で満たされていくのが実感できます。(北上市・ひろばあ)

山派です!離れて暮らす家族と登った富士山からの御来光、虹が忘れられません。山頂で食べたカップ麺は500円の価値ありでした。(北上市・UFO)

頂上に立ったときのパノラマをひとりじめする登山は最高。手を伸ばせば空や雲に手が届きそうな感じも好きなので山派です。(花巻市・みさき)

子供の頃はどちらかという海派でした。泳ぐのが苦手でしたが海のほうが楽しかったですね。今はどっち派でもないですが。(花巻市・ざっしー)

山派でも海派でもなく農派です!まだまだ現役!トラクターで農業をしています。働くことが元気の源です。(遠野市・遠野のじっちゃん)

### 来月のテーマ(9月号掲載)「お月見」応募締切/8月10日(金)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。

皆さんはお月見をしますか? また、お月見をする場合お団子は何団子を食べますか。  
 応募方法: ①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。

●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻組織広報課「ぼらーの広場」宛

●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント!  
**プロ農夢花巻**  
**「雑穀商品詰め合わせ」**



JAいわて花巻  
 応募フォーム

<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>

## がんばる青年部

### 知識と交流を深める北三県合同研修会を開催

岩手、青森、秋田の3県の青年部は6月19日、岩手県で「北三県JA青年部合同研修会」を開きました。北東北3県から盟友約90人が参加し、園芸品目を中心に奥州市江刺の(株)菅野農園と横瀬集落営農組合を視察するコースと、転作作物を中心に花巻市の盛川農場と農事組合法人リアルを視察するコースに分かれ研修を行いました。

花巻市内を巡るコースには、各県協議会役員やJAいわて花巻青年部の盟友など約40人が参加。米や小麦、大豆などを栽培する盛川農場ではトラ



積極的に質問をする盟友たち

クターやコンバインなどの大型農機を中心に見学しました。青年部の新淵伸彦副委員長が代

表を務める農事組合法人リアルでは、春定植タマネギのほ場や施設、機械などを見学。参加者は法



新淵代表(右)から説明を聞きました

人の経営内容のほか、春定植タマネギの生産を始めた理由や栽培のメリット、収量などを聞き、学びました。

秋田県農業協同組合青年部協議会の佐川長範委員長は「私が住んでいる地域と環境や農地面積などのケースが似ていた。身近なこととして捉えられ、イメージが湧いて参考になった」と話しました。

## 知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAは、どうやって運営しているの?

A 総会や地区別座談会などを通じて、組合員自らが運営方針を決めています。

JAは、出資して、事業を利用する組合員が、自ら運営する協同組合です。JAの事業や運営の方針は、正組合員全員が集まって毎年開催する総会(もしくは総代会)で決定します。

さらに、事業や運営に組合員の声をより反映するため、多くの仕組みが設けられています。集落などを単位に地域別の座談会を開催し、JAの役職員と組合員が意見交換を行います。また、支所・支店では、運営委員会やふれあい委員会を組織化し、支所・支店の運営や活動を行います。このほか、職員が全組合員の自宅を訪問し、組合員や家族の声を聴く一斉訪問などを通じて、組合員による運営が行われています。

(監修=広島大学 助教 小林元)



協同組合原則 第2原則  
 組合員による民主的な管理

### JAの運営に組合員の声を生かすための仕組み

総会(総代会)

正組合員で構成され、JAの事業や運営の方針を決定します。正組合員が500人以上のJAでは、総会に代わり、正組合員の中から選ばれた総代による総代会を設けることができます。

地域別座談会

集落などを単位に地域別に開催されます。JAの事業や運営について、JAの役職員と地域の組合員が意見交換を行います。

一斉訪問

JAの職員が組合員宅を訪問し、意見や要望を直接聴いて事業に生かします。組合員とJA役職員の絆を深めるのに役立ちます。



耕そう、大地と地域の未来。